

第4学年1組 総合的な学習の時間（英語活動）指導案

平成19年5月29日（火）第3校時
授業者 教諭

1 単元名 どの国に行きたいのかな

2 題材設定の理由

英語の学習をするときに最も大切なことは動機付けと考えている。小学生の時にしっかり英語を学習したいという動機付けができれば、それは継続し中学生になっても持ち続けられると考えた。その動機付けのために授業全体を作る際、最も大切にしたいことは「外国に対する興味を持たせること」である。外国のことを知り、日本との違いに気づいたり、外国に行きたいと思ったりすることがこれからの英語の学習意欲につながると考える。そこで、外国の文化の違いを知る機会を与え、興味を持たせたいと考え、この題材を設定した。

3 児童について（男子21名 女子18名）

英語の学習経験は、英会話の塾に通っている児童が6名いるが、他の児童は総合の時間での学習のみである。しかし、大半の児童がとても積極的に取り組み、みんなの前で会話練習の発表をする時にはたくさんの手が挙がる。また、その授業後の休み時間において、児童間の会話に学習事項のフレーズが出てきたりと、楽しんで取り組んでいるのがわかる。

しかし、数名の児童は人前で英語を口にすることに抵抗を持っている。そのような児童には、言葉の言い回しの間違いを気にするよりも、強く伝えたいという気持ちを持つことが大切であることを継続して指導していきたい。

4 指導について

小学校英語教育の利点として考えていることは2つある。それを毎回の授業でも中心に扱っている。1つ目は小学生のリスニング力の高さとそれに伴った発音の正確さである。「アルファベットのローマ字読み」という弊害が少ないため、聞いたままを素直に発音できている。2つ目は、英語を言うことの恥ずかしさ、ためらいが小学生には少ないということである。そこで、1つ目の利点から取り入れていることとして「フォニックスの指導」を行っている。基本的なフォニックスの発音を小学生のうちに習得し、中学校で抵抗なくたくさんの単語を学習していける児童に育てたい。2つ目の利点からは「会話の指導」である。児童同士で何往復も英語で会話をさせるということを目指している。そのため、授業の中心はゲームというよりは、会話の練習が中心となっている。しかし、児童の多くがこの活動を純粋に楽しいと感じており、ゲーム感覚で実践しているようである。しかし、会話を成立させるためにはたくさんの英文を暗記することが必要となる。文字表記を指導しない状態では限界があると考えた。そこで、必ず英語で話す部分と日本語を使っても良い部分を混ぜることで、長い会話をさせようと試みている。その日本語で伝えた部分は将来学習していくものとして、大まかな会話の始め方や流し方、終わり方などを小学生の間に身に付けさせようと考えている。

一回の授業でならったことをそのままにせずに、継続して次の授業の中でも取り入れるようにしてきた。できる限り、特別な表現と感じさせず、児童間で休み時間等に使用したくなるような雰囲気作りをしてきた。今までの授業で継続してきた内容は以下のことである。

①合いづちの練習 "uh-ha, great, really, I see"

②聞き返す練習 "How about you?"

③同意の練習 "me, too"

5 本時の目標

- ・日本と外国の文化の違いを知り、興味を持つ。
- ・既習事項を使って、英語で自然な会話をする。

6 準備物

歌のCD(フォニックスソング)、4つの国のカード (Spain, England, Thailand, China)
各国の特徴を表す写真か絵 (食べ物や建造物等)、インタビューカード、新出事項の説明カード ("why", "because~")

7 本時の学習過程

学 習 活 動	支 援 (・) と 評 価 (☆)
1. あいさつをする。 フォニックスソングを歌う。	How are you, today? I'm fine. And you? ・一緒にフォニックスの歌を歌う。
2. 4つの国 (Spain, England, Thailand, China) の話を聞く。	4つの外国についての話をする。 ・既習事項である旗を見せて国の名前を言わせる。 ・地図で場所を確認した後、各国の観光名所の写真と食べ物、簡単な文化などを紹介していく。
3. 本時の新出事項である "why?", "because ~" の発音練習を行う。	本時の新出事項である "why?", "because~" の意味を知り、発音練習をさせる。
4. 仲間探しゲームをする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px; text-align: center;">どの国に行きたいかな</div> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行へ一緒に行く人を決めるときは、「行きたい場所と理由」が同じ人と行くのが楽しくなるポイントであることを伝える。クラスの中で「行きたい場所と理由」が全く同じ人を見つける活動をすることを伝える。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>①ワークシートに行きたい国とその理由に○をつける。 ②動き回って出会った人にジャンケンをして、勝った人から</p> <p>A: I want to go to China. B: Really? Why? A: Because 食べ物がおいしそうだから。 B: I see. A: How about you? B: I want to go to Spain A: Really? Why? B: Because 有名な建物を見たいから." A: I see. Thank you. See you.</p> <p>というやり取りをする。まったく同じ意見の人を見つけれたら、一緒に行動する。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ意見の人を見つけるのは難しいことを伝え、探し当てられない可能性が高いことを強調してからスタートさせる。 <p>☆仲間探しゲームを通し、英語で自然に会話できていたか。(行動観察)</p>
5. 発表する。	・発表したい子を二人組にして、実際に会話をさせる。
6. あいさつをする	That's all for today. See you again.